

歯の衛生週間によせて

①

桐生市歯科医師会

歯は治す時代から、
予防する時代になりま
した。

しかし、今でも10

生涯を通して、丈夫な歯をつくらう！

「自分では自分の歯を
隅々まで磨けない」か
らです。

自分では見えないと
ころが多数存在します

から、歯科医院でその
場所を見つけてもらい

思ってしまうからで
す。

きょうの気の緩みが

1日でなく、1カ月、
1年、2年と続き、結
局、磨き残しの部分に
虫歯を作ってしまうの

命は自分でつくり出
す」という、そんな時代
になってきました。歯
とお口の健康も自らが
創り出し、豊かな人生
を楽しんでください。

※ ※

6月1日に週間行事

毎年恒例の「歯の衛
生週間」行事が6月1

日に桐生市保健福祉会
館で開かれます。どう

ぞ、お出かけいただ
き、お口のチェックや

各種コーナーを楽しん
でください。



桐生市歯科医師会長

森下正教さん

そう多くありません。
なぜでしょうか。

二つの要因がありま

す。一つは100%歯
を磨ける人は非常に少

なく、たとえ鏡で見な
から磨いたとしても、

ましよう。

もう一つは、毎日の

歯磨きを妥協してしま
うからです。「きょう

のところはこのへん

で。あとはあす、しっ
かり磨こう」と、つい

です。

メタボ予防がさかん

に言われていますが、

健康は「守る」時代か

ら「創(つくる)時代
になりました。生活習
慣の改善で、「自分の寿